

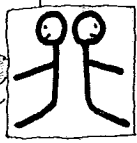
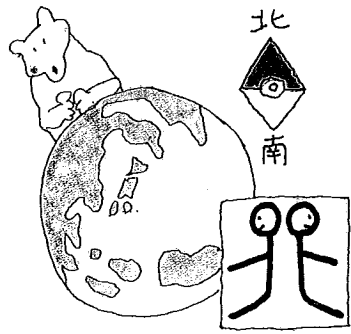
北

北極 北緯 北極星 北極星(天球軸の北端) 北極星(天球の北極に最も近い位置にある星。ほとんど位置を変えないので、北の方角を知るのに使われる。)

2年 5画 一 一 一 一 一 北

北極：地軸の北の端。また、天球軸の北端。例北極星(天球の北極に最も近い位置にある星。ほとんど位置を変えないので、北の方角を知るのに使われる。)

なりたち 人が背中合わせに座っている形を表した会意字で、背の本字。人は日のある南を向くので背は「きた」に向く。そのため、この字は「きた」の意味に用いられ、「せ」には背が作られた。



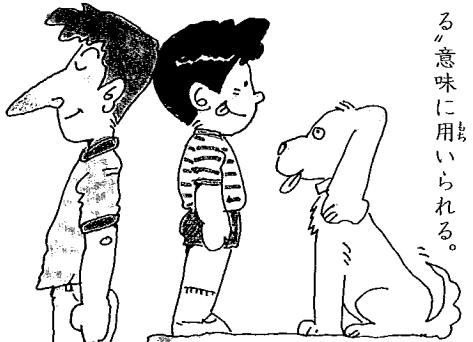
北極：北緯の北の端。また、天球軸の北端。例北極星(天球の北極に最も近い位置にある星。ほとんど位置を変えないので、北の方角を知るのに使われる。)

比

くらべる

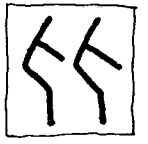
5年 4画 一 一 一 比

なりたち 人が二人並んでいて、肩をならべた形を表した字。「ならぶ」という意味を表す。二人並ぶと必ずくらべあうので、「くらべ」の意味に用いられる。



いみじゆく 比べる。 比べる：肩をならべること。優劣がないこと。用例第一級の名工にも比肩し得る腕前。同類のもの。たぐい。無比：比べるものがない(ほどすぐれている)こと。 比類：くらべるなから。たぐい。用例比類のない名作。

よみかた 比重・比熱・比率・対比・等比・反比例・腕比べ・背比べ・丈比べ



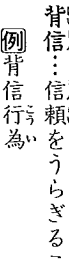
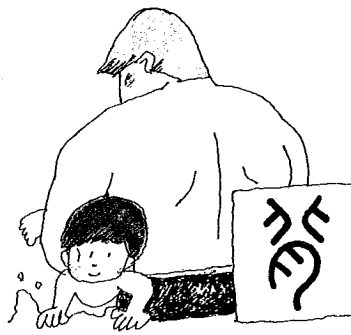
比皆

背

ハイ せ・せい・そむく・そむけ

6年 9画 一 一 一 一 一 背

なりたち 背の本字は北。北方角のきたを表す字として用いられるようになったため、月(にくづき)を加えて「せい」。また背を向ける・そむく意味に使われる。



いみじゆく せな。うしろ。 背後：後ろ。背中のほう。転じて、表面に表れない陰の部分。用例事件の背後関係を調べる。 背景：①絵や写真などで、主要な題材の背後の部分。②舞台の奥に描いたけしき。 ③人や事件の背後にあるもの。 紙背：紙のうら。用例眼光紙背に徹する。(読みが深くて文面に表れない裏の意味まで読みとること。) 背を向ける。そむく。 背信：信頼をうらぎること。 背信行爲 背水の陣：背後に川をひかえて陣を敷くこと。決死の覚悟をかためること。 背泳ぎ・背筋・背徳・背任・背任・背任

皆

カイ みな

9画 一 一 一 一 一 皆

なりたち 百の本字である白と、並ぶ意味の比との会意字。たくさんの人が「みな」きちんと並んでいることを表した字。



いみじゆく 皆目：見当もつかない。 皆勤：一日も休まずに出勤。出席すること。用例皆勤賞。 皆既食：日食(月食)で太陽(月)がすっかりかくれてしまうこと。 皆伝：武術や芸事で、先生から奥義を全部伝えられること。用例免許皆伝。 皆済：残らず済みますこと。特に、返金・返品・納入などの場合に使う。